

## 沼津市は「都市鉱山からつくる！ みんなのメダルプロジェクト」に参加します ～本市出身メダリストも賛同！不用となった携帯電話などの小型家電で東京オリンピック・パラリンピックのメダルをつくろう～

### ■内容

本年 4 月 1 日から 2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの約 5,000 個の金・銀・銅メダルを全国各自治体などで集めた使用済みの小型家電から抽出したリサイクル金属でつくる国民参画型の取り組み「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」が東京 2020 組織委員会の主催でスタートしました。沼津市もこのプロジェクトに参加し、本日、本市出身のメダリストお二人のメッセージを発表して、7 月 3 日(月)から取り組んでまいります。

沼津市では、すでに平成 25 年度から小型家電に含まれる有用金属資源の再資源化と適正な処理の確保を図ることを目的に、市内公共施設に「小型家電リサイクル拠点回収ボックス」を設置して回収してきました。今回のプロジェクトに参加して、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会を盛り上げることはもちろんのこと、リサイクル推進の一層のPRに繋げ、環境循環型社会の構築に取り組んでまいります。

※回収対象品目、回収方法等はこれまで行ってきた「使用済小型家電リサイクル事業」と同じです。

- 回収対象品目**…携帯電話、ノートパソコンなど 10 品目とこれら  
付属品のうち回収ボックスの投入口に入るもの
- 回収場所**…市役所、地区センターなど市公共施設 21 カ所  
にすでに設置の「小型家電リサイクル拠点回収  
ボックス」に投入

(詳細は添付チラシのとおり)



### ■取り組みスタート日時・回収場所

7 月 3 日(月)から

※予定では、2019 年(平成 31 年)春頃まで。

終了時期は、金属の回収状況等により変更になる場合があります。

### ■PR 方法

- ・沼津市出身のメダリスト 2 名によるメッセージを発表  
1992 年バルセロナオリンピック 金メダリスト 岩崎恭子さん(水泳)  
2016 年リオデジャネイロパラリンピック 銅メダリスト 若山英史さん(ウィルチェアー(車いす)ラグビー)
- ・既存の小型家電リサイクル拠点回収ボックスに「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」と表示(全国統一専用表示)
- ・広報ぬまづ、市ホームページ、フェイスブック等様々な媒体に掲載
- ・生活環境部パネル展(市長と語る会と併催)でPR など

## ■本市出身メダリストからメッセージ

沼津市でこの取り組みをスタートさせるにあたり、本市出身のメダリスト 2 名から、メダルへの想いや本プロジェクトの趣旨に賛同し「市民の皆さんに広めたい」と呼び掛けるメッセージをいただきました。

1992 年バルセロナオリンピック

金メダリスト 岩崎恭子さん(水泳)



地元、沼津の皆さまの応援があり、バルセロナオリンピックでの金メダルは一生の宝物となりました。

使用していた家電製品や携帯電話が、オリンピック・パラリンピックのメダルになる！

これは、オリンピック・パラリンピックに関われるチャンスです！

たくさんの沼津市民の皆さまにご協力いただき、一緒に 2020 年を盛り上げていただけたら嬉しいです。

— 岩崎 恭子 —

2016 年リオデジャネイロパラリンピック

銅メダリスト 若山英史さん(ウィルチェアー(車いす)ラグビー)



メダルを獲得する瞬間は今まで応援していただいた方々や、支えて下さった方々、選手の思いが形になる瞬間です。なので、パラリンピックのメダルはいろんな方の思いが詰まったとても価値のあるものだと思います。

今回、このような形で市民の皆様にご協力いただくことでさらに想いの詰まったメダルになり、アスリートにとってのメダル獲得のモチベーションに繋がりますし、環境問題にも配慮した素晴らしいプロジェクトだと思います。

— 若山 英史 —

### ※参考

①必要とされる約 5000 個のメダルの原材料として金が 10 キロ、銀が 1230 キロ、銅が 736 キロ、合計およそ 2 トンが必要ですが、製造工程でのロスを想定すると 4 倍のおよそ 8 トンを集める必要がある。仮に携帯電話だけで必要な金属を回収しようとする 500 万台以上(製造工程のロスを想定すると 4 倍のおよそ 2000 万台分)を集めることが必要。(組織委員会資料より)

②沼津市使用済み小型家電リサイクル事業実績

平成 25 年度(12 月から)	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
1,824kg	3,164kg	2,692kg	1,759kg

- ・回収対象品目で回収が多いものは携帯電話やノートパソコンなど
- ・重量の減少要因としてノートパソコンの軽量化などが挙げられる